

村上・岩船地域自立支援協議会 かわら版

～このまちに住んで良かったと言える地域づくりを目指して～

第26号（令和8年3月発行）

〈委員の方々のご紹介・リレートーク〉

今回は「村上特別支援学校 朝妻 裕佑 校長」です。

「感動」と「充実」のある教育活動を目指して

今年度は、小学部に39人、中学部に24人、高等部に34人、全校で97人の子どもたちが在籍しています。寄宿舎も併設されていますので、親元を離れて生活する子どももいます。子どもたちは、発達段階やコミュニケーションの手段、学習上の困難さが個々に異なりますが、どの子どもも自らの課題の解決に向けて精一杯活動に取り組んでいます。こうした姿は、平成12年4月に制定した教育目標「かがやこう」が目指す姿と捉えています。子どもたちを取り巻く環境は常に変化していくものですが、一人一人が適切な支援を受けながら自分の力を存分に発揮し、学校や地域社会の中で生きがいをもって生活してほしいという願いが込められています。このことを私なりに解釈し、具体として次の2点を学校経営の柱として掲げました。

○日々の学習活動を通して新しい発見をしたり驚きを感じたりし、心を揺さぶられ、学びを深める姿（感動）

○子どもが毎日を楽しんでいると感じ、明日もはりきって学校にいかうとする姿（充実）

安全・安心な教育環境をベースにしながらも、この「感動」と「充実」をキーワードに授業改善や学校経営に取り組んでいます。

また、当校は今年度創立50周年を迎えました。年度当初より学校行事に「50周年〇〇」との冠を付け、内外にアピールしてまいりました。記念式典は、大きな区切りの周年行事でしたが地域の実情や子どもたちの実態を鑑み、比較的アットホームな雰囲気の中で行いました。式の中では、当校の愛唱歌を作曲くださった元アーティストの作曲者の方にもご参加いただき、全校の子どもたちや職員と一緒に手話を交えながら歌いました。歌い終えた後は会場が感動の雰囲気に包まれ、次の50年を期待する高揚感を感じることができました。



その上で、この感動を一過的なものとして終わらせることがないようにしたいとも思っています。地域の中で温かく育まれた学校ですので、これまで同様に地域の子どもたちに対する教育相談や交流及び共同学習、居住地校交流などを通して地域とのつながりを継続・発展させていきたいと考えています。

～村上・岩船地域自立支援協議会 事務局～

◎村上市障がい者基幹相談支援センター 村上市三之町1番1号

☎0254-75-5830

◎関川村役場 健康福祉課 岩船郡関川村大字下関912番地

☎0254-64-1472

◎粟島浦村役場 保健福祉課 岩船郡粟島浦村字日ノ見山1513番地11

☎0254-55-2111

◎関川村社会福祉協議会 岩船郡関川村大字上関1244番地1

☎0254-64-1400

村上特別支援学校高等部(普通学級)を紹介します

社会生活への円滑な移行を目指します

村上特別支援学校は、今年度創立50周年を迎えました。小学部、中学部、高等部の児童生徒と一緒に学んでいる学校です。今回は、卒業後の社会生活に向けた学習に取り組んでいる高等部について紹介します。

学部目標

- 社会生活に必要な知識、技能、態度を身に付け、主体的に活動する生徒
- 自分の役割や責任を意識し、協調性をもって意欲的に活動する生徒
- 明るい心と健康な身体をもち、自らの生活を高めようとする生徒



限	時間	月	火	水	木	金
	8:50	登校・着替え				
1	8:50~9:15	SHR (特別活動)				
	9:00~9:15	HR	朝運動			
2~4	10:00~11:50	クラスタイム	作業学習(ワークタイム)			生活
		クラスタイム(清掃)				ライフタイム
	11:50~12:40	特別活動(給食・片付け)				
	12:40~13:00	昼休み				
5	13:15~14:00	課題別学習(国語/数学/英語)		職業	生徒会・清掃	
6	14:00~14:40	音楽/体育		(ワークタイム)	クラスタイム	
	14:40~15:00	着替え・SHR				
	15:00	下校				



スーパーで職場実習

卒業後の生活を見据えた生きる力の育成

「働く力」「生活する力」「楽しむ力」の育成

卒業後の生活を見据えたキャリア教育の推進



生活

クラスタイム【学年学級別】…卒業後を見据えた活動を取り上げて生活経験を深め、より良い過ごし方につながります。

ライフタイム【つけたい力別】…家庭生活や社会生活に向けて、衣食住、地域資源等の活用に関する学習に取り組みます。(エンジョイコース、トライコース、チャレンジコース)

作業学習

…生産活動やサービス関連の業務など、職業生活に必要な諸能力を高めます。

ワークタイム【つけたい力別】 (リサイクル班、縫製班、陶芸班、ジョブトレ班)

職場実習

…前期、後期の2回、2、3年生を中心に3日~3週間自宅から事業所(企業や福祉事業所)に通って実際に仕事を体験します。実習を通して自分の適性を見極め、卒業後の進路選択につなげていきます。

高等部卒業後の進路先

進路先	進学	就職	福祉サービス事業所利用					地域活動支援センター	その他	計
			その他		仕事中心の施設					
			生活介護	自立訓練	就労継続支援A型	就労移行支援	就労継続支援B型			
4年度	1	2	2	1	0	0	3	0	0	9
5年度	0	4	0	0	0	4	6	0	0	14
6年度	0	6	0	0	0	1	7	0	2	16

○企業及び福祉事業所の皆様へ

日頃より、職場見学や体験、実習、卒業後の受入れ等にご協力いただきありがとうございます。特別支援学校の生徒にとって、実際の仕事場、過ごす場を見学、体験することは、卒業後の生活をイメージする上でとても貴重な経験となります。今後とも、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。



村上・岩船地域障がい者雇用

推進ネットワークすずな

令和7年度 村上特別支援学校/就労移行支援事業所

見学会 & 交流会について



令和7年11月下旬～12月中旬までの計6回の中で、村上特別支援学校、就労移行支援事業所のカレイドスクエアパークと未来ワークサポートさかまちへ、8機関（内5企業）、延べ21名の方に足を運んでいただきました。

☆見学の目的

- ① 村上特別支援学校、就労移行支援事業所の活動・取り組み等の理解、啓発。
- ② 就職を目指して訓練を受けている当事者の様子を知る機会をつくり、活躍している当事者が企業で働くイメージを持っていただく。
- ③ 障がい者雇用に関心のある企業等との交流を通して雇用促進へ繋げる。

☆当日：村上特別支援学校では、スライドを用いての学校説明、生徒さんの授業の様子を見ていただきました。就労移行支援2事業所では、資料を用いての事業所の紹介、実際の訓練場面の見学、その後対話をしながら質疑応答を含め意見交換をしました。

☆感想：普段関わりがないところでしたが、見学できて少し理解することができた、普段見ることのない施設内を見学でき、利用者様の様子を知れてよかった、作業の内容を知ることによって今後患者様へ説明する時の参考になった、等の感想が聞かれました。



支援学校でのスライド説明



カレイドスクエアパークでの意見交換の様子



未来ワークサポートさかまちでの事業所案内



障がい理由とする差別の解消に係る意見交換会実施報告

§ 日 時：令和7年12月3日（水）14：00～15：30

§ 場 所：村上桜ヶ丘高校同窓会館（みつば開催時）

§ 参加者：32名



みんなのつどうばしょ～生きづらさを抱えた方が自由に集える居場所
毎週水・土曜日の9:30-15:30に開いています。

* 地域ぐるみで差別の解消に向けた取組みを効果的に進めることを目的に行っているこの話し合いも3回目。今回はみつばの開催日に合わせ、利用されている方々を交えてのグループ討議形式として、誰もが暮らしやすいまちづくりについて話し合いました。4グループそれぞれテーマに限らず、自身のことや所属先からの話題提供はじめ幅広く意見交換がなされていました。



* 参加された皆さんからは、「みつばの存在を初めて知ることができよかった。」、「いろんな話ができよかった。」、「当事者を交えてのグループワークは意義深かった。」といった感想が出ていました。また、次回は、聴覚や視覚に障がいのある方など、より多様な方にも声かけしてはどうかとの意見も聞かれました。

* いわゆる地域協議会（障害者差別解消支援地域協議会）としての組織形態の役割は、障がいのある人とない人との「対話の窓」になることが大切であると言われていますが、日ごろから定期的に地域の障がい者差別に関して意見交換の場を設けておく必要性を感じた取り組みとなりました。



○意見交換会の構成機関等

新潟法務局村上支局／村上保健所／村上公共職業安定所／村上特別支援学校／村上市小・中校長会／村上警察署／村上市消防本部／村上商工会議所／村上信用金庫／新潟交通観光バス村上営業所／瀬波タクシー／イオン村上東店／NPO 法人希楽々